第 41 回日本フィッション・トラック研究会実施報告

末岡　茂

第 41 回日本フィッション・トラック研究会は，2017 年 3 月 1 日（水）～3 日（金）の 3 日間にわたって，奈良県高市郡明日香村の祝戸荘にて開催されました．ここ数年と同様に，今回も ESR 応用計測研究会･ルミネッセンス年代測定研究会との合同研究会となりました．参加者は 48 名（うち学生が 18 名）と盛会でした．研究発表件数は，キャンセル 1 件を除くと 31 件に及び，そのうち約半数に当たる 14 件が学生による発表でした．研究の対象は，断層帯，段丘，ポリマー，歯，メタンハイドレート，隕石，水田土壌，凝灰岩，第四紀花崗岩，山地，チムニー，湖沼堆積物，樹木など極めて多岐にわたり，年代測定研究の裾野の広さと将来性を改めて印象付けられました．特に今回の研究会のひとつの特徴として，昨年度から始まった野島断層の断層年代プロジェクトの成果が本格的に出始めたことが挙げられると思います．断層の年代測定は，日本が世界をリードしている分野のひとつであり，今後も興味深い成果が出てくることが期待されます．

研究会の準備と開催にあたっては，奈良女子大の松岡由貴先生には，大変お世話になりました．会場の祝戸荘は閑静かつ風光明媚な立地で，落ち着いた雰囲気の中，研究会を執り行うことができました．また，毎晩の二次会では，松岡先生厳選の奈良の銘酒が並び，宴を大いに盛り上げました．オプショナルツアーでは，史跡見学や酒造見学が行われました．奈良県で史跡というと，平城京があった奈良市周辺がイメージされがちですが，古墳時代終末期を彩るキトラ古墳や高松塚古墳，蘇我氏の興亡を現代に伝える石舞台や飛鳥寺など，魅力や日本史上における重要度では決して見劣りしないと感じました．梅乃宿酒造では，2 時間近くにも及ぶ丁寧な説明をいただいた上に，無濾過生原酒や袋吊り純米大吟醸の生原酒，品評会用の特別な酒など，貴重な品々の試飲までさせていただきました．歴史や日本酒が好きな方にとっては，記憶に残る研究会になったのではないでしょうか．次年度の開催地は，岡山と高知が候補に挙がっており，他の研究会の会長と調整中です．

出席者（所属）：
赤瀬川幸治（山口大），藤原泰誠（岡山理大），福田将眞（京都大），鴈沢好博（北教大），服部　渉（所属不明），長谷部徳子（金沢大），伊藤久敏（電中研），伊藤一充（産総研），岩野英樹（京都 FT），甲斐綾子（山口大），川合史夏（北教大），河原弘樹（金沢大），菊池龍太（北教大），衣川公太郎（金沢大），草野展弘（岡山理大），松岡由貴（奈良女大），蓑毛裕希（山口大），三浦知督（金沢大），宮入陽介（東京大），水田幸男（JEOL），村橋美香（岡山理大），村松敏雄（新潟大），蜷川清隆（岡山理大），西村周作（原子力機構），西村進（京都自然史研），西野紗也子（金沢大），小畑直也（蒜山地質），小形　学（金沢大），大平寛人（島根大），大郷周平（岡山理大），岡本和斗（大阪大），坂之上聖史（大阪大），

佐久間　幹（片平エンジニアリング），清家一馬（埼玉自然博），島田愛子（JEOL），白井（水上）香奈江（丹沢 T 探究会），宍倉　愛（京都大），末岡　茂（原子力機構），田上高広（京都大），高田将志（奈良女大），高橋智佳史（北教大），田村明弘（金沢大），谷 篤史（神戸大），徳安佳代子（地域地盤研），豊田 新（岡山理大），ウダンジャルガル・ウヤンガ（金沢大），山田隆二（防災科研），山中千博（大阪大）

（計 48 名，敬称略，アルファベット順）

第 41 回フィッション・トラック研究会総会報告

2017 年 3 月 7 日

文責：末岡　茂

1. 普通会員 9 名の出席と委任状 9 名分が得られたことから，普通会員 1/5 以上の出席および委任状をもって，総会は成立した．
2. 今年度の活動状況について報告した．
3. 2015 年度の会計報告，会計監査報告を行い，承認された．
4. 来年度の執行部体制は現執行部から，庶務を岩野英樹氏から檀原有吾氏に変更して臨むことが提案され，承認された．会長は末岡の再任が承認された．
5. 以降の会長の選出にあたっては，過去の会長経験者の再任を全面的に解禁する方針が提案され，承認された．
6. 2017 年度の活動計画を提示し，承認された．
7. Thermo2016（ブラジル）の参加報告が行われた．

以下の 9 名の方々からは総会に関わる委任状をいただきました．ご協力いただき，ありがとうございました．安間　了，臼杵昌子，田上高広，竹内圭史，檀原　徹，檀原有吾，森本祐一郎，山崎誠子，山田隆二（五十音順，敬称略）

日本フィッション・トラック研究会の皆様

フィッション・トラック ニュースレター第３０号（２０１７年）の原稿を募集いたします．例年のとおり，奈良飛鳥での第４１回フィッション・トラック研究会で講演された方は講演要旨（Proceedings，Extended abstracts）としての原稿をお願いいたします．投稿期限を「7月中旬」とし，編集作業をはじめたいと思います．もちろん早ければ早いほどありがたく存じます。
研究会に参加されていない方も査読付きの「論説／総説」や「研究ノート」としての投稿をお待ちしております．

本誌は前号よりウエブサイト（http://ftrgj.org/index.html）でのPDFによる発刊・配布となり，基本的に冊子の配布を取りやめとなりました．
原稿の準備および誌上でのレイアウトは従来との変更はありません．また，原稿の準備につきましても下記のとおり，これまでと同様の形式でお願いいたしますが，PDF版を主体とすることから，図につきましては「基本的にカラーの使用が可能」となっております．

原稿の投稿につきまして，テキスト（本文，文献，図の説明）と図表は，それぞれ別のファイルとしてお送りいただけるようお願いいたします（基本的にはレイアウトの必要はありません）．

以下に投稿規定および投稿要領を掲載します．

フィッション・トラック ニュースレター 投稿規定 (1997年8月1日改正, 2013年4月1日一部改正)

総則
(1) 本会会員または本会会員に紹介された非会員はニュースレターに投稿することができる．
(2) 原稿は編集委員会に提出するものとし，編集委員会は受け取った原稿の受付年月日を記録し, 原稿を保管する．
(3) 編集委員会は必要に応じて, 会員または非会員に原稿の査読を依頼し, また著者に修正を求めることができる．
(4) ニュースレターに掲載の著作物の著作権は本会に帰属する．

細則
(1) 掲載内容はフィッション・トラックに関連する幅広い分野を対象とする．
(2) 掲載内容の種類を以下の通りとする．
(a) 論説: オリジナルな研究論文で内容の主要な部分が学術論文として, 他に印刷発表さ

れていないもの.

(b) 総説: ある分野に関して既存論文や学説などを総括・解説したもの.

(c) 研究ノート: 技術, 手法, 術語などについての報告または紹介.

(d) 日本フィッション・トラック研究会が開催・主催・共催した講演会などにおける講演内容をまとめたもの（Proceedings, Extended abstractsなど）.

(e) その他必要と思われるもの.

(3) 論説・総説・研究ノートに関しては, 複数の専門家による査読を行う.

(4) 原稿の書き方・提出方法・刷り上がりページ数の制限などについては, 別途定める.

ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

FTニューレター投稿要領（２０１７年）

１．発行は，２０１７年９月頃を予定しています.

２．原稿の締切りは，２０１７年７月中旬とします.
ただし，投稿される予定の方は早めに，掲載内容の種類（論説／総説／研究ノート／講演要旨／その他），タイトル，著者，刷り上り予定ページなどを編集委員（田村：aking826@staff.kanazawa-u.ac.jp）までお知らせください．またその都合によっては，〆切を延期することもあり得ますのでご相談ください.
論説／総説／研究ノートにつきましては，査読を行います.

３．投稿原稿（論説／総説／研究ノート／講演要旨／その他）のスタイルの詳細につきましては，次の通りとします.

・文体，句読点，引用文献形式等の詳細は，添付書類および過去のFTNLをご参考ください.

過去のFTNLの論文や講演要旨は以下からご覧いただけます.
http://ftrgj.org/index.html

タイトル・著者・所属は日本語および英語でお願いします.

・投稿原稿は,
テキスト（タイトル・著者・所属・本文・図のキャプションなど）：Word/Pages等のワープロソフト
＊＊＊「図表はWord/Pagesファイル中に挿入しないでください」
図表は、以下の通りとしますが必要ならばご相談ください.
図：PDF形式またはTIFF形式
表：PDF形式を推奨（TIFF形式やEXCELでも可）
＊テキストファイルとは必ず別にする
＊カラーが可能です.

＊サイズの目安，幅の上限

１段の場合、6.7cm、2.6inch、800pixel

２段の場合、15cm、5.9inch、1750pixel

以上の条件ではっきりと読むことができること

◯研究会の講演要旨（Proceedings，Extended abstractsなど）につきましては以下のようにします.

＊刷り上りページ数は４ページ（A４サイズ）を目処とします.
それ以上の分量になりそうな場合は，できるだけ論説，総説あるいは研究ノートなどとしてご投稿ください.

＊提出していただいた原稿は，編集委員会で簡単な査読を行います．内容やレイアウトの変更を求める場合もありますので，予めご了承ください.

＊基本的には段組等レイアウトの必要はありませんが，希望するレイアウトがある場合はお送りいただけると幸いです.

原稿作成・編集作業等に関しまして，質問等ありましたら遠慮なくどうぞ.

FTNL編集委員
金沢大学　田村明弘 (email: aking826@staff.kanazawa-u.ac.jp)